

講義名	対)テーマパーク経営論		
担当教員	栗田 真樹		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

テーマパークの概念をはじめ、開発、運営などについて国内外のテーマパークを事例にしてテーマパークの経営戦略や経営改革について学習する。とりわけ、東京ディズニーランド・リゾートやユニバーサル・スタジオ・ジャパンの成功要因などについて分析する。また、厳しい状況下にある地方都市のテーマパークや海外のテーマパークについても学習する。さらに、後半の講義では商業地や観光地などのテーマパーク化戦略についても学習する。

到達目標

- 国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握できるようになる。
- 地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることができるようになる。

提出課題

出席を兼ねて、授業の後半に毎回課題の提出を求める。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

授業中に講評・解説します。

評価の基準

平常点（講義内課題）、中間レポート試験、期末レポート試験により総合的に評価する。

- 授業中：講義内課題等 40%
- 中間期：レポート試験（理解度確認試験：記述式） 20%
- 期末期：レポート試験 40%

対面授業（面接授業）とオンライン授業（オンデマンド型）で講義内課題の量、提出期限、配点は差はない。対面授業では授業中の態度等を考慮する。履修者数によって、評価の基準を修正する場合がある。

履修にあたっての注意・助言他

、日頃からテーマパークに関する情報や知識の蓄積を求める。

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

授業（毎回）ごとに資料（レジュメ）を配布する。

授業計画

- イントロダクション（授業計画、成績評価他）
- テーマパークの概念、テーマパークの歴史の変遷他
- テーマパークの開発・運営、経営計画他
- 東京ディズニーランドの経営・運営計画
- 東京ディズニーリゾートにみる経営計画
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの経営改革
- 地方都市のテーマパークの実態と課題
- 海外のテーマパークの概況について
- 前半の授業のまとめ
- 中間試験
- 商業施設のテーマパーク化
- 観光地のテーマパーク化
- 商店街のテーマパーク化
- テーマパークの今後の展望と課題
- 期末試験に向けた授業のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で90時間（2時間×15回）、予習・復習で60時間（4時間×15回）です。予習・復習、中間レポート試験、定期試験の準備等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。

授業計画を参考にして、テーマパークの情報や知識を蓄積しておくことを望む。復習は、配布したレジュメや紙書したキーワードなどを整理しておくことを求める。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- 国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握すること、地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることによって、到達目標を達成することができる。
- 国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握すること、地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることで、観光事業の仕組みや経営構造を把握、理解する思考力、顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と実行力を身につけることができる。
- 国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握すること、地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることで、観光関連産業あるいは自治体や地域の観光団体での就業現場において自ら考える力を発揮し、観光地づくりや観光ビジネスに係わる新たな取り組みへの提案を行うことができる。
- 国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握すること、地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることで、旅行業、交通運輸業などの観光関連産業あるいは自治体や地域の観光団体での就業現場において自ら考える力を発揮し、観光地づくりや観光ビジネスに係わる新たな取り組みへの提案を行うことができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

対面授業（面接授業）とオンライン授業（オンデマンド型）を併用します。新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはオンライン授業となる可能性があります。オンライン授業はスマートフォンで対応できることを基本としますが、カメラ付きのPC、タブレットの利用を推奨します。教材はパワーポイントのビデオ、音声ファイル、PDF等でRyukaPortal「講義連絡」にアップロードします。また、アプリとしてはMicrosoft Teams（ビデオ会議）とRespon（出席・課題等のコミュニケーション）が利用できるようにしておいてください。これらはWebでも利用可能です。別のアプリを使用する場合もありますが、詳細は授業内で案内します。

実務経験の有無及び活用

備考

（対面授業の場合）講義中の私語、不必要な携帯電話、メール等は厳禁とします。「講義妨害」にあたるような場合には、他の履修者の権利を守るため入室してもらえない場合がありますので注意してください。